

毎週 水曜発行

復興ニュース

46号
2011年
10月12日

発行：気仙市民復興連絡会
大船渡市末崎町字石浜 34-1

<http://kesen-chiku.ecom-plat.jp/>

Twitter @KesenShiminFR

<https://www.facebook.com/kesenfukko>

無料法律相談

10月15日 14:00~16:00

場所：三鉄盛駅



無料法律相談 会場

年中無休で三鉄盛駅舎の利用を考え、市民の交流事業をめざしている NPO 法人 夢ネット大船渡は、東京の弁護士の方から、「無料法律相談」を開きたいとの申し入れがあり、被災等にて色々悩みを抱えている皆様のお役にたつものと思い、開催することと致しました。

うちの家の土地にまた住めるのか？
支援金の追加って、もらえるのかな？
まだ残ってるローンがあるんだけど…

誰に相談したら良いかわからない、お悩みはありませんか？こういった悩みをお持ちの皆様のため、長瀬佑志弁護士（水戸翔 合同法律事務所）他 1 名による無料の「よろず法律相談会」を開催します。予約がなくても相談頂けますが、時間が限られているので事前の申し込みが確実です。

電話 0192-47-3542（三鉄盛駅ふれあい待合室）へご連絡ください。

主催：NPO 法人ヒューマンライツ・ナウ

協力：NPO 法人夢ネット大船渡

自転車支援 米崎コミセンへ

東京調布ライオンズクラブ（関口昌昭 会長）様から、第 1 回目は 8 月に大船渡地区公民館へ 30 台、第 2 回目の今度は 22 台（うち 2 台新品）の自転車を米崎コミュニティ推進協議会へ寄贈頂きました。

調布駅に放置された自転車を調布市が引き取り、それを東京調布ライオンズクラブ様が譲り受け、修理して気仙へ輸送しているものです。

10月6日、米崎コミセンで受け取った方々から、「こんな立派な自転車を頂き、これから頑張っていきます、自動車が流されたので職場への通勤に利用します」（佐々木さん）、「年寄のため移動用にありがたく使わせて頂きます」（佐々木さん）、「本当に感謝しております、近場での移動やサイクリングに使わせて頂きます」（小川さん）等、感謝の言葉を頂きました。

東京調布ライオンズクラブの関口会長らは今月 21 日に大船渡市長を訪問し、今後の支援について意見交換することになっています。来月は三陸町綾里地区公民館へ寄贈頂く予定です。



10月8・9両日「愛フェス2011」行ってきました!!

愛フェスって何?という人も多いことでしょう。「楽しむことが誰かにためになる」をモットーにした愛フェスは、各地で活動するNPOと市民が一緒になって地域をよくし、元気にしていこうというビッグ・イベントです。3回目を迎えた今年は、10月8・9日の両日、愛知県名古屋市郊外のモリコロパーク(愛・地球博記念公園)を会場に、参加規模3万人で開催。

「愛知でできる東北支援」をテーマに、東日本大震災で被害の大きかった東北に焦点が絞られ、ここ気仙からもたくさんの団体が参加・出展して、復旧・復興へむけた歩みを東海地方の皆さんにアピールし、今までのお礼とともに、継続的な支援を呼びかけました。(右ページへ)



「夢ネット」のブースでの津波映像説明



戸田大船渡市長の講演



夢ネット・岩城会長のワークショップ



お向かい「遠野まごころネット」さん



サンマ 三姉妹(?)



ワークショップ参加
大学生・Sくん

気仙ことばをまじえた 励ましのメール ありがとうございます

東京のうさまから、支援の手芸品と一緒にはげましのメールが届きました。うさまは大船渡の出身で現在は東京にお住まいだそうです。気仙ことばをまじえた、励ましのメールを紹介します。

お送りいただいた手芸品は、さっそく『走せ回って』仮設団地や地域のサークルなどに届ける予定です。

—*—

—*—

—*—

「私の母は随分前に亡くなりましたが、もし生きていたら、『走せ回って』被災された人達のお手伝いをしてたはず。その母の代わりに少しでもお手伝いがしたくて、でも事情が2つも3つもあって、それもなかなか叶わず。そんな時、私に出来る事を発見しました。

だから、私も『気仙のおがさんがどに、なんぼがでも喜んでもらえたら』、嬉しいです。『とべっこ』ですが、送りました。趣味や実用に役立てていただけたら幸いです。

そちらは、だいぶ寒くなっていると思います。皆さん、くれぐれもお身体ご自愛下さい。」

三鉄盛駅 ふれあい待合室 10月15日～ イベント時刻表

15日(土)	14時～16時	弁護士による法律相談(無料)
16日(日)		
17日(月)		
18日(火)	13時～16時	ハートブローチ講習(無料)
19日(水)	10時～12時	お茶っこの会+市民体操(無料)
20日(木)		
21日(金)		
22日(土)		おこわ・すり身汁 販売【有料】

毎日、手作りの民芸品やお菓子も販売しています。



毎日、お茶っこ、無料サービスしてっから、友だちば誘って、好きなどぎに来てけらっせん。時間ば10時がら、午後5時までだからね。

復旧・復興へ気仙の歩み みんなでアピール 名古屋市で

事務局をつとめたのは、震災後、早い時期から当地での支援活動にあたってくれているNPO 愛知ネットのみなさん。多くのスタッフや市民・学生ボランティアの方々が、東北被災地のために、広い会場内を懸命に動きまわる姿に、胸がいっぱいになりました。

みなさん本当にありがとうございます。みなさんの気持ちに支えられて、東北は、気仙は、かならず復旧・復興します。見ていてくださいね。

多田住田町長の講演



陸前高田「動く七夕まつり実行委員会」



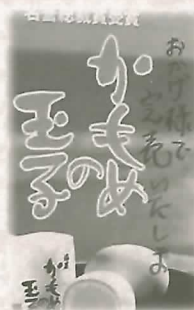
「子育て支援スマイル」4人娘？



サンマ、どえりゃーうみゃーで



河村名古屋市長と「サンマ婦人会？」



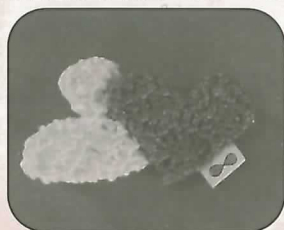
「かもの玉子 完売」
「気仙きらめき大学」

● 暮らしのお役立ち情報 ●

手編みでつくる ハートのブローチ 10月18日 三鉄盛駅・ふれあい待合室

『はたらくことは生きること』をテーマに、私たちは、被災した人たちが 仮設住宅などでできる小さな手仕事を作っていきたいと思っています。こんど「遠野まごころネット」の菊池瞳さんが、ご指導に来てくださることになりました。

最初は手編みでつくるハートのブローチです。関心のある方ぜひご参加ください。



日時 10月18日(火) 13:00~16:00
場所 三鉄盛駅ふれあい待合室
講師 菊池 瞳さん(遠野まごころネット)
定員 10名 *定員になりしだい締切ります(先着順)
申込先 17日(月)までに TEL0192-47-3542
三鉄盛駅ふれあい待合室へ

楽しい リンゴ狩り遠足 10月24日 子育て支援「スマイル」主催で

秋晴れの空のもと、親子そろって、真っ赤に色づいたリンゴ狩りを楽しんでみませんか？子育て支援「スマイル」は10月のイベントに、リンゴ狩りのバス遠足を予定しています。

定員は先着20組まで、会費は1家族単位で千円です。参加のお申し込みはお早めにどうぞ。

雨天の場合は、カメリアホールでの「リンゴ遠足ごっこ」になります。こっちも楽しそう！

10月24日(月) 9:30 盛町・カメリアホール前集合 (12:00 同所で解散)

定員 20名 会費 1家族単位で1000円

申込先 村上トメ子さんまで

携帯 090-7065-8171

FAX 0192-26-2908



シニア「パソコン講習」がスタート 大船渡・猪川公民館で 夢ネット主催



9月27日(火)午後、大船渡市の猪川地区公民館でNPO「夢ネット大船渡」が主催するパソコン講習『ワード・エクセル講座』の開講式が開かれました。この日は夢ネットの岩城理事長の挨拶やクラス分けなどのあと、これから講師を務める千葉良悦さんが自分で製作した画像を使いながら、高田松原の「根性一本松」について講演。パソコンでの画像処理の見本を示しました。

この講座、希望者が多く、キャンセル待ちが出るほどの大好評。今回、受講できなかった方は次回募集までお待ちください。

講座開講にあたっては、さんりく・大船渡ふるさと大使の千田俊

章さんや東芝・セイコーエプソンの両社から、支援をいただいているそうです。ありがとうございます。

「かもめの玉子」さいとう製菓さま — 復興ニュース配布場所が増えました —

10月から本誌『復興ニュース』の配布場所が、1か所増えました。気仙では数少ない全国ブランド「かもめの玉子」のさいとう製菓さまです。大船渡市富沢の国道45号線ぞいにある仮本店で、配布にご協力いただけることになりました。お店に立ち寄る県外のかたも、きっと目にとめていただけたと思います。ありがとうございます。

なお、同製菓の齊藤専務には、ご自身で撮影・編集した震災記録映像DVDを、前述の「愛フェス」で放映することに同意していただき、会場を訪れた多くの人たちに被災当日の状況を伝えることができました。かさねて、お礼申し上げます。



津浪映像の放映（夢ネットブース）

〜〜〜 ケセン語ツイッター 気仙のつぶやき ケセン語あエライ（〇） 〜〜〜〜

いやあ、こんな小ちゃこいコラムなんだども、文句きたり面せがられだり、思いのほが、見でける人あいるもんだね。ありがでござだ。あんなごど(前号・前々号見てけらいや)、トーキョー語で書くどカドたって仕方ねえども、ケセン語だど、何だが丸っこくなるもんなあ。

オラこれでも、東京の方さしばらぐいだがら、仕事んどぎゃ、トーキョー語で話してんのす。便利だがらね。全国がら電話来るし、何よりも、白黒ははっきりした言葉だがら、仕事のうえでの理屈かだりやすいんだでば。相手やりこめどぎも役だつすね(相手ってわがるね?)。んだども、トーキョー語のいいごあ、そごまでさ。トーキョー語で、オラの気持ち言(ゆ)うべどすっと、なんぼ神経つかっても、どごさが違うどご残んだでば。とべっこばりだども、なんだがウソになんだなあ…何年、東京の方さいでも、そればりあ変わんねがったね。先月、大船渡の仮設で汗流しながらサンマ焼いでだ奈良の学生さんが、おらほのケセン語さいいごどかだってだよ。「ウチらの方とはぜんぜん違ってて、これでも同じ日本語かと思っちゃう。けど、言葉の響きがすごく優しい！意味わかんなくても、気持ちは伝わって来ます」。やっぱり、ケセン語あエライ（〇）〈S〉

活動情報・くらしの情報 お寄せください

気仙市民復興連絡会では、気仙地域の復興支援活動をする団体や各仮設団地自治会などの情報発信をサポートしています。どうぞご利用下さい。また仮設団地などでの広報活動のお手伝いもさせていただきます。お気軽にお問い合わせください。こんな行事や催しがある、こんな要望がある、どんなことでも結構です。

みなさまのくらしに関わる情報を、どんどんお寄せください。

なお、配布や設置にご協力いただける個人の方や店舗さま・団体さまも募集しています。

電話・ファックス 0192-47-3271



愛フェス ステージでの住田町獅子踊
亡くなった人を悼む「鎮魂の踊り」

【復興ニュース】第46号 2011.10.12

発行：気仙市民復興連絡会

Tel&Fax 0192-47-3271

kesenshimin.f.r@gmail.com

<http://kesen-chiku.ecom-plat.jp>

「復興ニュース」は中央共同募金会からの助成金を受けて
気仙地域内で4000部発行しています

